

司会（松原恵美 氏）

ありがとうございました。ご来賓のお二人よりご祝辞をいただきました。

本日のシンポジウムはふるさと地域力発掘支援モデル事業として実施されますが、このモデル事業の趣旨につきまして大崎上島町地域協議会の榎本江司事務局長よりご説明させていただきます。それでは榎本事務局長よりしくお願いいたします。

◆事業説明 13：15～13：20

事務局長（榎本江司 事務局長）

事業説明をさせていただきます。ふるさと地域力発掘支援モデル事業は平成20年から24年度の5年間で地域の農業、漁業、伝統文化、景観等の有形無形の資源を活用して、地域の活力を高めると同時に、経済活動にはずみをつけて都市と地域の交流につなげることを目的としております。単年度200万円、および初年度の計画策定費100万円を加えて総額1千100万円の農林水産省の支援補助事業でございます。昨年8月、公募の趣旨に従い、わが島が他に誇れる伝統行事「權伝馬」をテーマに、次世代の担い手の育成と地域交流による滞在型観光の促進を考慮したまちづくり構想を、中国四国農政局長に申請して採択されております。9月から12月を計画策定期間として大崎上島町の将来がより活力あるふるさとでありうることを念頭に、「權伝馬の支え合い学びあい精神」を基本にわが町に関連のある各地において現地調査を含め、今後5年間のふるさとづくり計画をまとめ申請したものが、12月に中国四国農政局長に承認されたところであります。

本日のシンポジウムがふるさとづくり計画にもとづく最初の実践活動で、この事業の第一歩でございます。地域協議会の構成団体は、大崎上島町、教育委員会、議会総務福祉文教及び産業建設各常任委員会、国立広島商船高等専門学校、連合区長会、商工会、観光協会、FFアイランド大崎会、特定非営利活動法人かみじまの風でございます。

大崎上島町は環境に恵まれたすばらしい島でございますので、今私たち住民一人ひとりが知恵と力を出し合い、活力のある住みよい島を孫子に引き継ぐため、本日が出発点であることを確認しまして、今後とも皆さまにご理解、ご支援をお願い申し上げ、業務説明とさせていただきます。

◆基調講演（見延典子 氏）13：20～14：30「瀬戸内海と頼山陽」